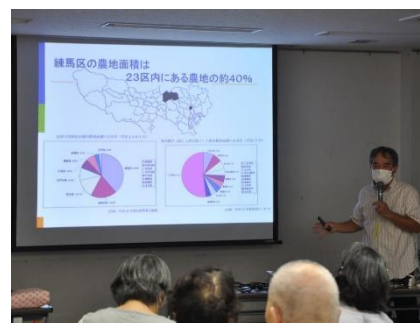
	視覚障害者の方が世界に誇る「練馬の都市農業」を聞いて、学んで、野菜の収穫を体験します！
と き	10月4日（日）午後1時30分～午後3時
と ころ	中村橋福祉ケアセンター（練馬区貫井1-9-1）
<p>4日、区内の農業者が視覚障害者の方々を対象に、区の魅力である都市農業について講演した。（主催：練馬区視覚障害者福祉協会（以下「協会」））</p> <p>今回の取り組みは、協会から視覚障害者が都市農業を学び、野菜の収穫を体験することができないかと練馬区に相談があり、区内の農業者の協力を得て実現したものです。</p> <p>本日は、江戸時代から300年続く農業者の白石好孝さんが講師となり、練馬の都市農業の歴史や特徴、魅力などを講演した。</p> <p>講演を聞いた視覚障害者の方は「区内には多くの畑が残っており、都市農業が盛んであることは知っていたが、農業体験農園や果樹あるファームなど知らないことが多くあり、大変勉強になった。畑の土に触れ合える機会はめったにないので、収穫体験も楽しみ」と話した。</p> <p>次回は、25日に区内の畑でさつまいも掘りを体験する。</p>	



▲講演の様子

【収穫体験】（事前のお知らせ）

都市農業を学んだ視覚障害者の方々が、区内農業者の畑で“さつまいも掘り”を体験する。
日時：10月25日（日） 午前10時30分～正午 ※雨天の場合は、11月1日（日）に延期
場所：区内農業者の畑（土支田3丁目）

【参考①】練馬の都市農業

練馬区には東京23区の中で最大の農地が残っており、その割合は23区にある農地の約4割を占めている。大都市東京にありながら、これほどの農地が保たれ、市民生活と融合する形で農業が営まれている練馬区は、世界的にも極めて稀な都市であり、利便性の高い都市での市民生活と農が共存する暮らしがあることは、大きな魅力となっている。昨年は、都市農業について積極的な取組を行っている海外5都市を招き「世界都市農業サミット」を開催（11/30～12/1）し、「サミット宣言」を世界に発信した。

【参考②】練馬区視覚障害者福祉協会

協会会員の互助、親睦および福祉の増進を図ることを目的に活動

【問合せ】

練馬区 都市農業課 農業振興係 電話03-5984-1403